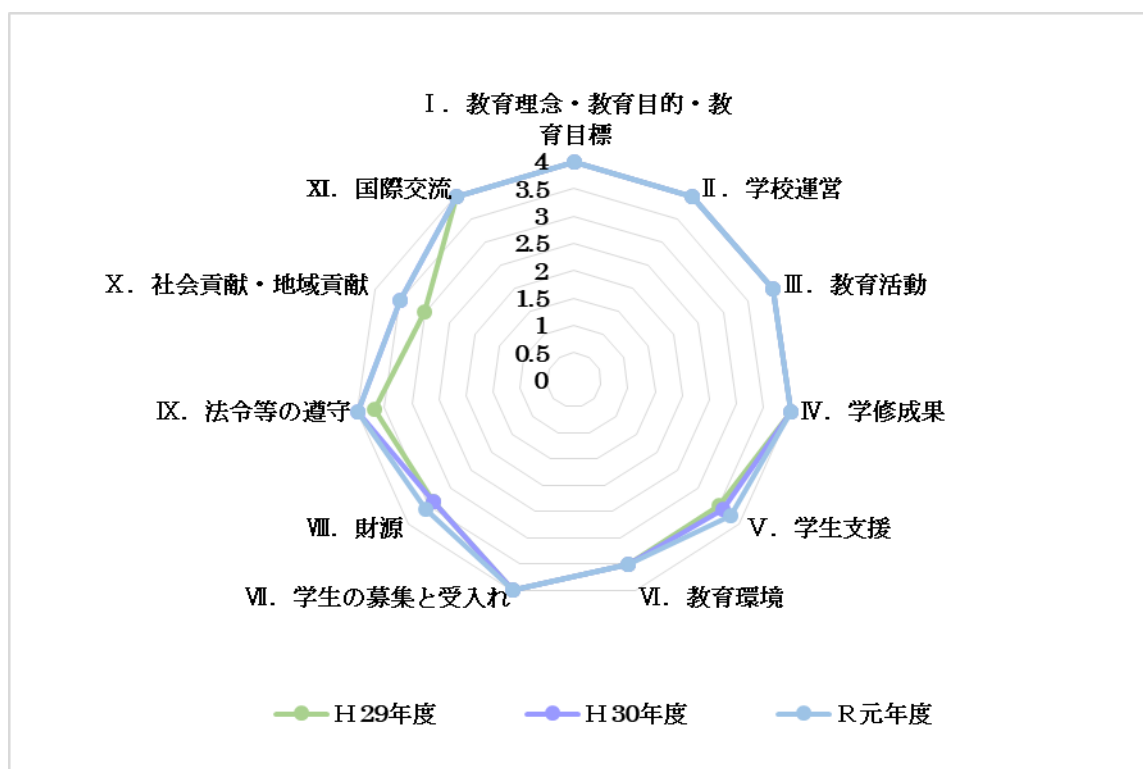


【令和元年度 学校評価結果】

<自己点検・自己評価結果>

カテゴリー(大項目)	H29年度	H30年度	R元年度
I. 教育理念・教育目的・教育目標	4	4	4
II. 学校運営	4	4	4
III. 教育活動	4	4	4
IV. 学修成果	4	4	4
V. 学生支援	3.5	3.6	3.8
VI. 教育環境	3.5	3.5	3.5
VII. 学生の募集と受入れ	4	4	4
VIII. 財源	3.4	3.4	3.6
IX. 法令等の遵守	3.7	4	4
X. 社会貢献・地域貢献	3	3.5	3.5
XI. 国際交流	4	4	4



自己点検・自己評価結果

<令和元年度 自己点検・自己評価 総括>

I 「教育理念・教育目標・教育目標」自己評価：4.0

教育理念、教育目標は、教育課程においては根幹となすところである。日常的に教育理念、教育目標に戻り、教育活動を実施している。

II 「学校運営」自己評価：4.0

学生の状況、社会の状況等の変化に対応するため、現在の教育活動が教育理念・教育目標の達成に向けて妥当であるか問い続け、年間の事業計画に沿って運営している。また、第5次カリキュラム改正に向けて、報告書および赤十字副学校会による「カリキュラム評価・検討」の結果などをふまえ、現行カリキュラム評価をすすめている。

人事・給与制度、意思決定システムについては、規定に則り運営している。また、情報のシステム化を図り、文書管理規定など取扱規程を明文化しルールに沿って運営している。

学生が自身の個人情報管理を適切に行えるよう、1.2年生を対象にソーシャルメディアの適正な取り扱いに関する特別講義を実施している。

教職員が学校経営に関心を持ち参画するために、ポジティブマネジメントを大切にし、学校経営方針をふまえ個人のアクションプランに基づき取り組んでいる。担任業務の見直しや事務との連携など、業務の標準化と危機管理の観点から、業務の見える化を図った。

赤十字看護専門学校 BCP と既存の危機管理マニュアルの関連を確認し、今年度は BCP に基づく危機管理マニュアルおよび感染対策マニュアルを改訂した。

III 「教育活動」自己評価：4.0

教育課程の運営は、学校運営会議、教育会議、教師会議等によって組織的に審議、遂行している。

学年別に定められた到達目標の自己評価結果をふまえ、次年度の学級運営方針を定め、各クラスの特徴を踏まえたクラス運営を行うとともに、学生個々の学習状況を担任・教員全体で把握し必要に応じて支援している。

保護者会等での保護者の意見、ホームカミングディなどで卒業生からの意見、卒業時の学生の意見をもとに、教育環境の整備に努めている。

キャリア教育としては、看護観に基づき看護師に必要な知識・技術・態度の付与に加え、職業人になるという自覚や態度を育成し、コミュニケーションスキルや人間関係形成、問題解決などの能力の育成に努めている。また、進学・就職に向けて社会の動向をふまえて時期を早めて実施するなど、タイムリーな情報提供・支援を行っている。

臨地実習における学生の学習支援体制として、実習施設に実習指導者を2名以上配置するようにし、指導者としての役割を認識し主体的に活動できるよう支援した。このことは、学生の学びに効果をもたらしている。

看護教員ラダーを活用し、新人の看護教員が「看護教員」としてのキャリアを積めるよう育成している。今年度は看護教員ラダーレベルⅡを1名が取得し、教員間でのリフレクションの成果を評価された。教員が相互に成長できるようリフレクションに取り組む。

IV 「学習成果」自己評価：4.0

本校学生の設置医療施設への就職希望者は45名中32名であり、受験者32名中28名が合格した。他の赤十字病院へは7名が合格し、最終的に34名（75.6%）が赤十字病院へ就職内定し、9月中旬までには全員が内定した。

昨年度、看護師国家試験1名不合格の結果を受け、学生個々が主体的に学習に取り組めるように、学生の能力に応じた動機づけと支援を強化している。また、計画的に業者模試を取り入れ自己評価することで、自己の強みの強化と弱点の克服に向けた学習に生かしている。

V 「学生支援」自己評価：3.8

近年の採用状況をふまえて今年度から採用試験において併願可とし、どんな看護をしたいか、将来どうありたいか等を考え、就職先を検討するようガイダンス、また設置医療施設と連携し就職支援を行っている。さらに業者の協力のもと、令和3年度採用試験日の前倒しを受けて早めに「自己分析」「履歴書・面接対策」講座を実施するなど支援している。

学生相談に関しては、担任制のほか学生相談窓口として「なんでも相談室」の開設や、校医に精神科医師を配置、設置医療施設の「こころの相談室」についても周知している。

経済的支援では、各種奨学金の紹介を行っている。また、学生自ら情報を得て公的な支援制度を利用できている。

VI 「教育環境」自己評価：3.5

新潟県支部助成により、フィジカル看護シミュレーターPhysikoをはじめとする教材を購入し、看護実践力向上のための学習環境を整備した。

安全管理では、BCPに基づく危機管理マニュアルの改訂のほか、新たに防災委員会を立ち上げ、9月に防災委員会を通じハザードマップを用いて、学生自身の自宅と通学路の危険地域等の周知を働きかけた。今後、緊急時の連絡手段及び安否確認の方法として、アプリとメール両方の利用が可能な教育機関向け連絡システムの導入を検討している。

施設設備として、建物の経年変化に対して外壁や二重サッシの修理を行っているが、今後も計画的に進めていく。

VII 「学生の募集と受け入れ」自己評価：4.0

学生募集対策として、受験生の受験生の必要としている情報を把握し学校広報に努めた。学校や企業主催の説明会への参加、オープンキャンパスの開催等を通して、本校の魅力を伝える機会とした。また、入学予定者に対しは「在校生からのメッセージ」を送付し、本校への帰属意識を高める工夫をしている。しかし、受験者数は減少傾向にあり、近年の大学進学志向および大学センター試験最後の年であることや、中越地区に看護専門学校2校新設の影響も考えられた。学生確保に向けた、新たな戦略を早急に検討していくとともに、大学入試改革などの情報を得ながら入試については再度検討していく。

VIII 「財務」自己評価：3.5

学校の財源基盤は、学生納付金・補助金・救護看護師養成費等が約 72%、設置医療施設が約 28%である。昨今の医療を取り巻く状況や消費税増税などの影響から、一層の財務改善への取り組みも必要とされている。教職員全員がコスト意識を持ち、学校経営に参画し健全な学校経営に努めるよう、支部・設置医療施設・看護学校で引き続き協議していく。

IX 「法令等の順守」自己評価：4.0

関係法令や看護学校設置基準等の遵守、個人情報保護、学校評価、教育情報の公開など、すべての項目において適切に運用し、学校運営を行っている。

X 「社会貢献地域貢献」自己評価：3.5

全学生が青年赤十字奉仕団に所属し、支部、病院、社会福祉協議会、長岡若者しごと機構等のボランティアの要請に応じている。それらのボランティア活動の結果については紙面報告されているが、学内で活動内容、結果について共有していく機会を持てるようにする。また、学校として、青年赤十字奉仕団活動の支援体制を明示していく。

教員による地域社会への貢献として、日本赤十字社国際部、日本赤十字社新潟県支部、日本赤十字社長野県支部、新潟県看護協会、新潟県看護連盟等の講師や委員を引き受けている。

XI 「国際交流」自己評価：4.0

国際的視点を持ち国際的視野を広げられるよう、外国人教師による英会話の充実、災害医療論での国際看護の教授、災害看護演習における外国人留学生への対応等の機会を設けている。

<学校関係者評価結果>

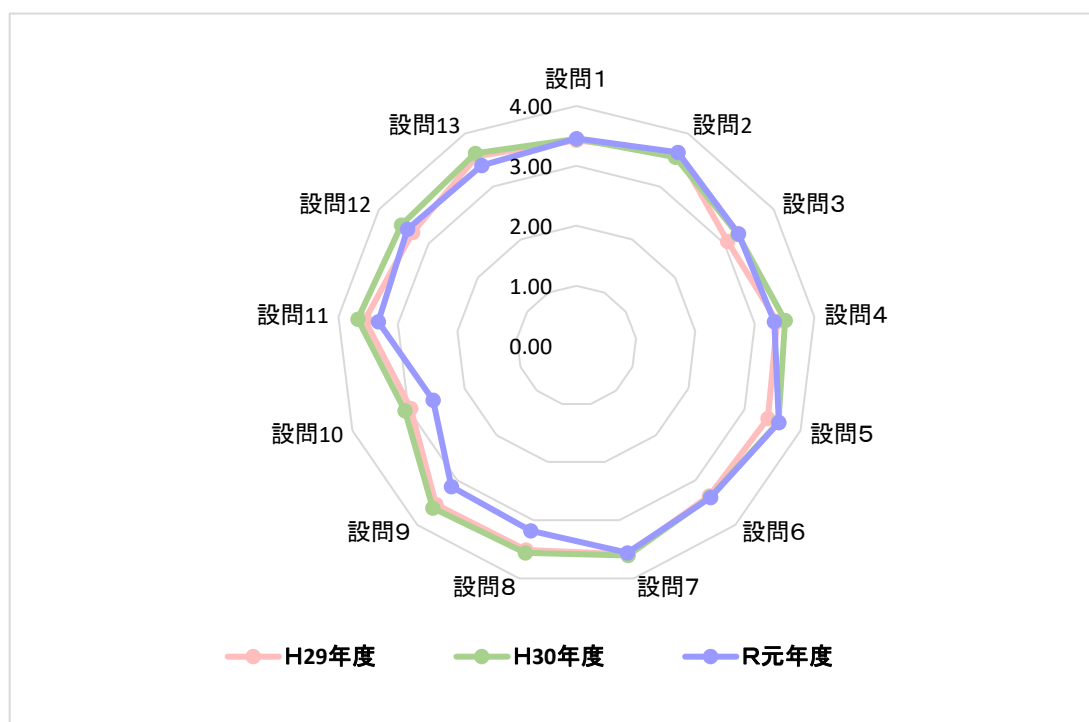
保護者の皆様には、学校関係者評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。令和元年度の回収率は 67%でした。今後、学校での学生の様子、3 学年の学生生活、教育の状況等を、保護者の皆様にわかりやすくお伝えできるよう、学校ホームページや保護者会の充実を図るよう考えていきたいと思ひます。

学習支援において、感謝のお言葉、厳しいご意見をいただきました。

皆様のご意見をふまえ、教育環境の改善、さらなる充実に向け取り組んでまいります。

点数平均（4 点満点）

設 問	H29年度	H30年度	R元年度
1 教育理念・教育目的を知っている。	3.43	3.45	3.46
2 教育目標は、教育理念・教育目的と一貫性がある。	3.63	3.55	3.64
3 教職員は個々の学生にあった方法で学習指導を行っている。	3.07	3.28	3.29
4 学習への動機づけが適宜なされている。	3.37	3.51	3.32
5 学習への指導や支援は学校全体として一貫性がある。	3.42	3.61	3.61
6 学校は、教育の状況や学生の様子をわかりやすく保護者に伝えている。	3.35	3.37	3.38
7 学校の施設・設備は整っている。	3.59	3.61	3.56
8 進学や就職を支援する体制を整えている。	3.51	3.56	3.18
9 国家試験に対する支援体制を整えている。	3.54	3.62	3.14
10 学校ホームページは、3学年の学生生活がイメージできる。	2.96	3.06	2.56
11 看護師（専門職）を目指す学生としての自覚を感じる。	3.56	3.68	3.33
12 赤十字の活動に関心をもっている言動を見聞きする。	3.32	3.55	3.42
13 挨拶など日常生活の場面を通し社会人としての成長を感じる。	3.57	3.63	3.40



学校評価アンケート結果